

2 あなたの提案実現事業、しあわせバンク事業について

■あなたの提案実現事業

平成20年度 実施事業

	事業名	実施団体	補助金額	備考
1	子育て支援事業ステップアップ講座	子どもサポートセンター いそっこ	130,000円	⑳新規
2	障害児・者のノーマライゼーション、文化芸術活動の支援	NPO 法人地域コミュニティ ネットワーク・ヨコハマ	100,000円	⑲継続
3	手作りおもちゃ講座	キラキラ	100,000円	⑲継続
4	防災スキルアップ講座	さあどうする！防災	100,000円	⑲継続
5	思い出語りをききます隊	いそご回想法倶楽部	50,000円	⑲継続

1 子育て支援事業ステップアップ講座 (実施団体:子どもサポートセンターいそっこ)

目的	「楽しい子育てのまちづくり」の実現をめざし、子育てに関する保育付きの学習講座を開催する。親子同士のふれあいの場を提供し親子相互の仲間づくりや世代間交流を図る。“子どもの一時預かり”や“親子のつどいの場”の担い手による支援活動のスキルアップをめざす。
事業内容	1 9月24日 リトミック体操(リトミック講師) 2 10月28日 講演:心のビタミンI足りてますか(保育園園長) 3 11月26日 手遊びうた(市民グループ) 4 1月21日 読み聞かせのすすめ方、楽しみ方:講演&体験 (横浜市教育委員会 学校図書館研究協力員) 5 2月25日 すこし先の[未来]がみえる子育て術(臨床心理士) <会場>磯子地域ケアプラザ・屏風ヶ浦地域ケアプラザ

2 障害児・者のノーマライゼーション、文化芸術活動への支援事業 (実施団体:NPO法人地域コミュニティネットワーク・ヨコハマ)

目的	家や施設内に引きこもりがちな障害児・者を対象に、区内の文化芸術団体や障害者施設と連携して、創作や音楽活動などの自立支援の活動を行うと共に、地域の人たちとの交流やノーマライゼーション促進を支援する。
事業内容	1 等身大肖像画教室開催 2 音楽を通じたノーマライゼーション交流会 (1) 10月25日 声楽家のピアノ演奏をいぶき祭りとおわせて開催 (2) 2月14日 声楽家と磯子区の地域合唱団とのジョイントコンサート 創作作品の「アート製品化」を紹介 <会場>磯子地域活動ホームいぶき 3 等身大の肖像画展示会 3月2日~3月5日の4日間 パネル展示や商品デザイン化した「アート製品」も展示 <会場>磯子区役所1階ホール

3 手作りおもちゃ講座
(実施団体:キラキラ)

目的	母と子のつながりを強めるぬくもりのあるおもちゃ作りの講座を保育付きで開催し、子育て中の母親が孤立せず地域とのつながりづくりができるよう支援する。
事業内容	<p>第1回(4~7月) 布サッカーボール・入園向けバッグなど 全8回 <会場>屏風ヶ浦地域ケアプラザ</p> <p>第2回(9~10月) 唄って遊べる弁当箱・指人形など 全4回 <会場>新杉田地域ケアプラザ</p> <p>第3回(10~12月) 牛乳パックでびっくり箱など 全5回 <会場>ヴェルドミールマンション集会場</p>

4 防災スキルアップ講座
(実施団体:さあどうする!防災)

目的	地域の住民一人ひとりが防災に対する関心を深めることを通じて、地域のつながりについて考えるとともに、災害被害減少に寄与すること。
事業内容	<p>1 10月4日 関東に大震災M8 さあどうする</p> <p>2 11月1日 住宅耐震補強、安全への投資 (一級建築士)</p> <p>3 12月4日 AEDと心肺蘇生法、応急手当 (磯子消防署)</p> <p>4 2月21日 子どももできる防災、子どものための防災講座 <会場>磯子地域ケアプラザ・新杉田地域ケアプラザ 滝頭地域ケアプラザ・屏風ヶ浦地域ケアプラザ</p>

5 思い出語りをききます隊
(実施団体:いそご回想法倶楽部)

目的	「回想法」を通して、高齢者等の生きる力を引き出し、一人ひとりが自分らしく生きることを支援する。また、地域の人と人とのつながり作りや世代間交流を促進する。さらに、回想法を提供する活動に団塊の世代等の地域住民が参加することにより、介護予防や生きがいづくりの機会とする。
事業内容	<p>1 回想法講演会とリーダー養成講座の開催 (5回)</p> <p>2 回想法の地域住民への提供</p> <p>① 有料老人ホーム「くらら磯子」 5~7月 全7回 1~3月 全8回</p> <p>② 老健オアシス 10~11月 全8回</p> <p>③ 栗木町内会館 3~5月 全8回</p> <p>④ 洋光台地域ケアプラザ 3~4月 全5回</p>

■しあわせバンク事業

「しあわせバンク」とは、地域の人材・活動グループ・活動の内容などの情報（地域の宝）を蓄積し、区民の皆さんが共有することを通じて、区民同士が相互に支え合う活動を活発化させる仕組みだと考えて取り組みを進めています。

平成20年度は根岸地区連合において「しあわせバンク事業」に取り組みました。

平成21年度も根岸地区連合において引き続き運営するとともに、新たに1か所の開設に向けて取り組みます。なお、新規設立にあたっては、地区連合という範囲にとらわれずに、より身近な地域での設立も視野に入れるなど、地域の実情に応じたかたちで取り組みます。

【根岸地区における20年度の実施内容】

(1) 地域の人材、活動グループ、活動内容等の情報の蓄積について

- ア バンクの受付（相談）窓口を根岸地域ケアプラザとし、これを周知するために電話番号を記載したマグネットシート及び案内チラシを町内会を通じて根岸地区に各戸配布した。
- イ バンクの周知と根岸地区の支えあいの現状把握及び今後の連携を目的として連合町内会、消防団、ボランティア団体、根岸地区センター、障害者通所施設「集」、その他地域関係団体の代表者に集まっていただき、活動紹介と懇親会を行い、推進のための意見交換を行った。
- ウ 地域の社会資源との連携のためにNPO団体懇親会と生涯学習団体との懇親会を行い、今後の連携の在り方、しあわせバンクへの参加の仕方について意見交換を行った。
- エ しあわせバンクの協力者を募るために、町内会にアンケートを回覧した。
- オ 地域住民のIT活用としあわせバンクの支援者募集及び育成のために『超初心者のためのパソコン相談室』を月に2回根岸地域ケアプラザのボランティアコーナーに設置した。

(2) 対応窓口について

窓口設置場所：根岸地域ケアプラザ

窓口対応時間：根岸地域ケアプラザの開館時間に同じ

(3) 事業実施状況への評価・分析について

- ア 初年度として短期間であったが、しあわせバンク事業の開始のきっかけとなったゴミ出しカレンダーをはじめとした様々な活動を企画しながら実行していくなかで、地域の関係団体、市民活動団体との連携の糸口を作ることができたことは評価できると考える。

イ 地域の新しい力の発掘のため、地域住民と協働で『パソコン相談室』を継続運営できていることはひとつの成果だと考える。

(4) 今後の課題について

ア マグネットシートの各戸配布により窓口の紹介をしているが、どのような活動をしているのかについて更なる周知が必要だと考える。

イ 町内会アンケートでは協力者が得られなかったが、地域での支えあいが行われている地域であり、その方たちとの連携をとる必要がある。

ウ 町内会毎に地域活動の差があるが、活動の弱い地域で地域住民との関係づくりを行う必要がある。

エ より地域の方が主体となった活動としていくことが必要だと考える。

(5) 事業の収支について (単位：円)

収入	しあわせバンク事業補助金	1,637,200
	根岸地域ケアプラザより補助	78,751
収入合計		1,715,951
支出	人件費	1,042,593
	事業費 (マグネットシート作成等)	649,635
	研修費 (関係団体との意見交換会)	23,198
	事務費	525
支出合計		1,715,951

(※) 21年度予算について (単位：円)

収入	しあわせバンク事業補助金	1,612,500
	収入合計	1,612,500
支出	人件費	1,062,500
	活動費	400,000
	研修費	150,000
支出合計		1,612,500